

令和2年度 岐阜県外国人材活躍・多文化共生推進本部員会議

外国人材関係団体からの報告(コロナ禍における外国人の雇用情勢等について)

## 学校法人神野学園中日本自動車短期大学における 外国人留学生の受け入れ状況について



報告者：中日本自動車短期大学

自動車工学科・准教授 学務課長

清水勝昭

令和2年10月23日

## 【1】学校の概要

### 1. 基本情報

(1) 学校名：中日本自動車短期大学（なかにほんじどうしゃたんきだいがく）

(2) 所在地：岐阜県加茂郡坂祝町深萱 1301

※名鉄新鷺沼駅、JR 美濃太田駅それぞれから無料バスを運行

(3) 設置者：学校法人神野学園

※同学園校：岐阜医療科学大学（関市・可児市）、  
中日本航空専門学校（関市）

(4) 設立年：1967年

(5) 設置学科：①自動車工学科 （1学年あたり） 200名 2年制

②モータースポーツエンジニアリング学科 30名 3年制

③専攻科一級自動車整備専攻 20名 2年制

④専攻科車体整備専攻 40名 1年制

⑤留学生別科 50名 1年制

※ ①と②の学科では卒業時に国家資格2級自動車整備士の  
受験資格が得られます。

③では1級自動車整備士、④では車体整備士の受験資格  
が得られます。

### 2. 経緯

- ・1969年・・・初めての外国人留学生の受け入れ
- ・1988年・・・中国汽車工業総公司を通じ技術者や教員の研修受け入れ開始
- ・1998年・・・初めて国外から直接外国人留学生を受け入れ  
※中国第二汽車製造廠と関係のある湖北汽車工業学院から受け  
入れました。
- ・2000年・・・上海に事務所開設（学園として）
- ・2000年・・・イタリア国立フェラーリ工業専門学校との姉妹校提携
- ・2001年・・・中国シルクロード（敦煌-ウルムチ）におけるソーラーカー実験プ  
ロジェクト主催
- ・2005年・・・留学生別科開設
- ・2009年・・・国際自動車工学科開設（～2017年まで）
- ・2014年・・・ベトナムで日本語学校開設（学園として）

### 3. 現況(10月1日現在)

#### (1) 留学生数:

在学学生数 264 名(休学者を除く)

自動車工学科	255 名
モータースポーツエンジニアリング学科	2名
一級自動車整備専攻	1名
留学生別科	6 名

#### (2) 国別人数:

ネパール 98 名・ベトナム 94 名・中国 38 名・スリランカ 12 名

他にミャンマー、バングラデシュ、インドネシア、マレーシア、フィリピン、台湾



#### (3) 国内生、国外生の区別:

264名中、254 名が国内の日本語学校や別科からの進学

#### (4) 入学生の日本語レベル:

自動車工学科・MSE 学科=N2 レベル 留学生別科=N4 レベル

#### (5) 募集対策:

日本語学校・大学展・オープンキャンパス(友人や知人からの「ロコミ」)

#### (6) 留学生の居住地:

愛知県在住と岐阜県在住が大体半々

※学校近隣の坂祝町・美濃加茂市在住者は全体の3分の1



from VIETNAM →

じどうしゃこうがくか  
自動車工学科

NGUYEN DUC  
TRIEU



## PERSONAL DATA

しめい

氏名：グェンドウツクチュウ

せいべつ おとこ

性別：男

こくせき

国籍：ベトナム

つうがくじかん じてんしゃ ふん

通学時間：自転車で7分

しゅうにゅう

つき

アルバイト 収入：¥110,000/月

やちん

つき

家賃：¥17,000/月 ※2名でルームシェア

かげつ しょくひ

1ヶ月の食費：¥20,000

きしょう

### 起床

おはようございます。今日も一日がんばるぞ！

8:30

### 出発

自転車で学校へ。5分～10分ぐらいで着きます。学校周辺は緑が多くてのんびりした環境です。サイクリングも気持ちいい！



8:45

### 朝食

パンにゆで卵を挟んでベトナムソースをかけたらオリジナルサンドイッチのできあがり！

9:00

9:20

げんめ じどうしゃせいびじっしゅう

### 1・2限目「自動車整備実習Ⅱ」

実習の時間は大好きな車に触れるのでとっても面白いです。分からない事は先生に質問してしっかり教えてもらいます。



12:30

## 昼食

今日はコンビニで買ったお弁当を留学生センターで食べます。電子レンジもあるので便利！学食で食べる時は牛丼がおススメ！



## きたく 帰宅

今日の授業は3限目までなので帰宅して少し休憩です。

## きたく 帰宅、夕食

今日は遅いので簡単に夕食を済ませます。時間がある時はベトナム料理を作ることもありますよ。



12:30

13:20

## 自動車工学日本語

自動車専門用語は日本語学校では学んでいませんので知らない言葉も多くて勉強になります。自動車整備士として働く上でとても役に立ちそうです。



15:00

17:00

## アルバイト

近くのミニストップでアルバイトをしています。オーナーさんや他のスタッフも皆さん優しく楽しく働いています！学校の話聞いてもらうこともありますよ。



22:30

0:00

## しゅうしん 就寝

一日が終わりました！毎日あっというまです。おやすみなさい！

## 4. 受入れ体制

### (1) 在学生のフォロー体制:

クラス担任、学務課、留学生センターなど

### (2) 住まい:

大学経営の学生寮(2か所)、  
近隣の指定アパート(留学生総合住宅保証制度活用)



留学生センター



学生寮

### (3) 経済支援:

全ての留学生を対象として留学生授業料減免制度(平均約20%減免)

### (4) 日本語教育:

一般日本語科目、専門日本語科目、留学生に特化したビジネス関係の科目

※日本語が専門の教員が専任教員で3人、非常勤教員が7人



日本語教育



### (5) 現地との連絡:

上海事務所、ハノイの学校を通じ対応

### (6) その他:

地域の在住外国人を対象とした日本語講座「なかにほん・にほんごあかでみい」主催

※月3万円で留学生別科の正規日本語科目をほとんど全て受講可能

## 【2】留学生の就職状況について

### 1. 背景

- (1) 主な就職先・・・2級自動車整備士を中心とした自動車のアフターサービス業界での就職
- (2) 業界の事情・・・若者の車離れ、業界の人材不足、自動車技術の高度化（車検方法の改定）  
※外国人留学生に対する求人意欲は年々強くなっています

### 2. 支援体制

- (1) 本学の後援会組織「日本ライン会」（約200社）による学内企業説明会  
※8割の企業が留学生も採用可、または相談可能
- (2) 留学生に特化した学内の就職指導（ガイダンス）を複数回実施



学内企業説明会



ガイダンス

### 3. 具体的な状況

- (1) 2021年3月卒業予定者（内定）10月1日現在
  - ①（別科除く）来春卒業予定者118名（未確定）のうち109名が就職を希望し、そのうち100名の就職先が内定しています
  - ②約9割が自動車メーカー系の自動車ディーラーの整備部門です。
  - ③愛知県に本社を置く企業に内定した者が最も多く、84名です。
- (2) 2020年3月卒業生  
（別科除く）卒業生62名 日本国内就職者58名（進学1名 帰国3名）
- (3) 2019年3月卒業生  
（別科除く）卒業生56名 日本国内就職者51名（進学2名 帰国3名）
- (4) 岐阜県内企業への留学生の就職は、数の上では少ない。徐々に実績が出てきている。

### 4. 就職後の反応

- ・企業側、学生側双方について、後で述べます。

### 【3】コロナウイルス感染症拡大の影響(及び課題)について

#### 1. 就職関係について

- (1) 来春卒業生について、自動車整備関連の求人状況は変化ありません。  
製造業関連では減少、または早めに終了の印象があります。
- (2) 現1年生について、学内企業説明会や就職ガイダンスを可能な限り、実施する方針です。
- (3) 今後、オンライン面談、面接が広がると、学生が十分に企業研究できなかったり、選考で不利になったりするのではないかと懸念しています。

#### 2. 経済面について

※本学では4月・5月は休校、遠隔授業。6月から対面授業を実施しています。

- (1) 留学生のアルバイト・・・アルバイト先は、外食産業及びコンビニが多いため、休業、営業短縮の影響を大きく受けています。
  - ① 特に4月・5月のアルバイトの給料が減少した者が多い。
  - ② 本学では6月・7月の土曜日と、夏休みの一部に授業の補講をおこなったため、例年に比べるとアルバイトをする時間が減っていると思われる。
- (2) 当面の生活はなんとかしのいでいる感じがあるが、学費の支払いが問題になっています。
- (3) 留学生が申請可能な各種公的支援制度について、大学側でまとめた資料を作り、学費の支払いに困っている学生に積極的な活用を求めました。一部の学生が利用できた模様です。
- (4) 今後は、後援会からの特別な支援金や、学校独自の貸付制度を学内で検討しています。

#### 3. その他

- ・ 一時帰国者で日本へ戻れないでいる者(休学中)、新規入学予定者で未入国の者がいます。
- ・ 新規入学予定者で未入国の者8名に対しては、現状、オンラインで授業を行っています。この8名は、すでに現地の大使館にビザ申請をし、早期の来日を目指しています。
- ・ 今後、入国者の14日間の隔離が必要となりますが、大学の現場としては、その対応に苦慮しております。



#### 【4】「外国人材活躍と多文化共生の推進」についての課題と問題点

- (1) 企業と外国人材のマッチング機会について・・・本学では学内で企業説明会を実施し、外国人留学生の採用可否についての情報も含めた資料も作成しています。企業側の採用意欲も強いので、留学生にとっては比較的恵まれていると思われます。ただし、業界・職種は限られています。この点は課題です。
- (2) 留学生から見た就職後のミスマッチ・・・多くの学生はよく職場になじみ、活躍していますが、一部で、職場環境、仕事の内容、待遇面などのミスマッチがあります。周囲の動きを見て、あせって早く決めてしまうなど、就職活動の段階で十分に企業理解、職場理解ができていない現状があると考えられます。
- (3) 企業側から見た採用後の反応・・・多くの留学生は仕事への意欲が強いということで評価が高いです。一方、一層の日本語力の向上を望む声があります。(顧客対応の日本語力や漢字を書くことなど)
- (4) 岐阜県内での外国人留学生の就職が進むためには、まずは企業トップ始め企業全体で前向きに留学生を受け入れる意志を持たれることが必要だと思えます。

\* \* \* \*

- (5) 留学生の場合、配偶者を呼び寄せるとか、日本で子育てをするなど、家族で日本で暮らしたいという意向が強いように思います。それで、働くことだけでなく、生活面全体でのサポートが他県より充実しているといいと思います。
  - ・住居賃貸の際の配慮(業者に対する施策・外国人に対する配慮)
  - ・車の運転免許取得や外国免許からの切り替えに対する配慮
  - ・市役所の市民向け書類や窓口対応などで「やさしい日本語」活用の推進
- (6) 継続して岐阜県が外国人にとって住みたい土地(働きたい土地)であるために・・・
  - ・岐阜県内の小学校、中学校、高校で、地域の身近な外国人の立場を理解できるような多文化共生教育の充実を望みます。同時に、成人県民についても同様の理解が進むような施策を取っていただき、誤った認識が少なくなるといいと思います。

\* \* \* \*

- (7) 本学の実情から察して、留学生が在留資格から見た「留学」というくくりで優遇措置を受けやすいのに対し、それ以外の外国人学生(「家族滞在」「定住者」「永住者」など)への支援、配慮が置き去りになりやすいように思います。今後の課題です。

以上